



東地中海地域ニュース

ヨルダン：オバマ米国新政権についての世論調査結果 (12月16日現地各紙)

15日、現地ヨルダン大学戦略研究所は、11月25日から12月2日にかけて1767人を対象に行った、オバマ米国新政権に関する世論調査を発表した。概要以下の通り。

1. 質問と回答

- (1) オバマ新政権発足は、米国の対中東政策に影響を与えるか
好影響を与える：43%
影響を与えない：57%

- (2) オバマ新政権発足は、中東地域における米国のイメージに影響を与えるか
好影響を与える：45%
影響を与えない：55%

- (3) オバマ新政権発足は、パレスチナ問題に影響を与えるか
好影響を与える：34%
影響を与えない：66%

- (4) オバマ新政権発足は、米国の対イラク政策に影響を与えるか
好影響を与える：37%
影響を与えない：63%

- (5) オバマ新政権発足は、米国の対イラン政策に影響を与えるか
好影響を与える：33%
影響を与えない：67%

- (6) オバマ新政権発足は、米国とヨルダン間の政治的関係に影響を与えるか
好影響を与える：56%
影響を与えない：44%

- (7) オバマ新政権発足は、米国の対ヨルダン支援に影響を与えるか
好影響を与える：54%
影響を与えない：46%

2. ヨルダン国民の57%が、今回の米国大統領選挙に関心を持ち、調査回答者の60%はアル・ジャジーラ TV を情報源としていたと回答した。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799